平成26年度 北海道紋別養護学校 学校評価結果

平成26年度の学校評価結果と改善の方策をお知らせします。
2ページ、3ページに保護者と職員の集計結果を掲載しました。ご覧ください。

＜平成26年度学校評価結果と改善の方策＞

評価項目／ 改善方策	保護者評価	職員評価
○学校経営 ・教育目標 ・学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標、経営方針の説明について平均値が全項目で4.0以上と高い結果でした。 ・保護者説明会等での丁寧な説明の結果と受け止めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標、経営方針の説明や理解のための方策等は、全項目で4.0以上と高い結果でした。 ・組織運営等は、授業の教材研究や分掌業務等の時間確保が難しい状況があり、2つの項目で平均値3.5と、全体の中では低い結果でした。
改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営、方針に関する保護者説明会を年3回行っています。複数回の説明の機会を設けたり、PTA役員会や懇談会などで保護者に説明し、意見等を交換する機会を増やしていきます。 ・学部や分掌等の業務を効果的・効率的に進めるため、組織的・計画的に取り組めます。 	
○教育活動 ・学級経営 ・授業	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の8項目中7項目は、全項目平均値が4.0以上と高い結果でした。家庭や地域への教育活動の発信や地域資源を活用した教育活動について、平均値4.5と高い結果でした。 ・小学部、中学部、高等部のつながりを配慮した指導について、平均値3.8と全体の中では低い結果でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の将来を見据えた進路指導や、小学部、中学部、高等部のつながりに配慮した指導の充実に関する項目は、平均値が3.5と低い結果でした。 ・児童生徒の障害の特性や実態把握やアセスメントに基づいた目標設定など、授業づくりに関する項目は、全項目平均値4.0でした。
改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部、中学部、高等部の教育活動の連携を図り、他学部授業参観等の研修機会を増やします。 ・地域資源を活用した授業や、行事へのボランティア参加などを呼びかけ地域との交流を図ります。 	
○連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と担任、寄宿舎室担の話し合いや連携は平均値4.4と高い結果でした。 ・幼稚園や保育園、小中学校等の関係機関との連携についても、平均値4.2と高い結果でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内の組織間の連携について、平均値3.7と低い結果でした。 ・学担と寄宿舎の連携、保護者の要望等の共通理解と保護者と学担、室担の相互連携の平均値は3.9と低い結果でした。
改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学部間連携や学担と寄宿舎の連携について、授業交流、全校授業反省会、学舎懇談等の機会をとおして継続して取り組んでいきます。 	
○PTA活動	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、職員の平均値が3.7と共通して低い結果でした。 	
改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動や役員会等の内容について、PTAだよりを作成、保護者や職員に配布し理解を図ります。 ・PTA活動について、保護者や職員が参加しやすい活動内容や業務の役割を見直し、活動を工夫し改善します。 	

平成26年度 学校評価（保護者用）集計結果

対象 保護者

平成26年11月実施

全体数	27
-----	----

回収数	26
-----	----

回収率	96%
-----	-----

項目	平均値	5	4	3	2	1	無回答		
		十分	おおむね十分	どちらともいえない	不十分	かなり不十分			
I 学校経営	目標 1	4.5	15 58%	9 35%	2 8%	0 0%	0 0%	0	
	運営 2	4.3	15 58%	4 15%	6 23%	1 4%	0 0%	0	
	家庭・地域社会・関係諸機関	3	4.2	15 58%	5 19%	4 15%	1 4%	1 4%	0
		4	4.1	12 46%	7 27%	5 19%	1 4%	1 4%	0
		5	4.4	16 62%	6 23%	2 8%	2 8%	0 0%	0
	6	3.8	8 32%	9 36%	5 20%	2 8%	1 4%	1	
	7	3.8	9 35%	7 27%	6 23%	3 12%	1 4%	0	
	危機管理	8	4.4	13 52%	9 36%	3 12%	0 0%	0 0%	1
		9	4.0	11 42%	9 35%	4 15%	0 0%	2 8%	0
	姿勢・意識	10	4.1	12 46%	6 23%	7 27%	0 0%	1 4%	0
		11	4.4	13 52%	10 40%	2 8%	0 0%	0 0%	1
	教材	12	4.3	12 46%	10 38%	4 15%	0 0%	0 0%	0
II 教育活動	教育課程	13	4.4	13 54%	7 29%	4 17%	0 0%	0 0%	2
		14	4.3	13 52%	7 28%	4 16%	1 4%	0 0%	1
	教科指導	15	4.5	17 65%	6 23%	2 8%	1 4%	0 0%	0
		16	4.2	13 52%	6 24%	5 20%	1 4%	0 0%	1
		17	4.2	11 44%	9 36%	5 20%	0 0%	0 0%	1
		18	4.1	9 39%	7 30%	7 30%	0 0%	0 0%	3
	進路生徒指導	19	4.3	10 43%	9 39%	4 17%	0 0%	0 0%	2
		20	3.9	9 36%	9 36%	4 16%	2 8%	1 4%	1

全体数	61
-----	----

回収数	61
-----	----

回収率	100%
-----	------

* 網掛けの項目：保護者項目と比較をした項目

項目	* 網掛けの項目：保護者と比較をした項目	平均値	5	4	3	2	1	無回答	
			良くあてはまる	ややあてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
学校 経営	学校 教育 目標	1 学校目標や経営方針等を職員や保護者にわかりやすく説明し、理解できるように取り組んでいる。	4.1	15 25%	34 57%	10 17%	1 2%	0 0%	1
		2 学校教育目標や経営方針等は、児童生徒の実態や保護者の願い、地域の実態等に応じたものになっている。	4.4	25 42%	32 53%	3 5%	0 0%	0 0%	1
		3 学校教育目標や経営方針等をふまえて、具現化するための意識を持ち、日常の教育活動に取り組んでいる。	4.2	21 34%	34 56%	5 8%	0 0%	1 2%	0
	組織 運営 等	4 各分掌部の業務内容は、適切に設定されている。	4.0	15 25%	32 52%	13 21%	0 0%	1 2%	0
		5 各分掌部の業務内容に対して、各学部的人数はバランスよく配置されている。	3.9	13 25%	26 50%	8 15%	3 6%	2 4%	0
		6 教材研究、授業反省、指導担当者間での話し合いの時間は確保されている。	3.5	8 16%	21 41%	14 27%	7 14%	1 2%	1
教育 活動	教育 課程 の 編 成 等	7 小・中学部、高等部のつながりに配慮し、児童生徒の年齢や発達段階に応じた教育課程を編成している。	3.5	5 10%	23 45%	19 37%	3 6%	1 2%	1
		8 「個別的教育支援計画」を活用して、将来の目指す姿を保護者や関係機関職員と共通に理解することができている。	4.1	18 35%	23 44%	9 17%	1 2%	1 2%	0
		9 「個別の指導計画」を活用して、児童生徒の教育的ニーズに応じた個人目標や指導内容等について、保護者と共通に理解することができている。	4.2	20 38%	28 54%	2 4%	0 0%	2 4%	0
	学習 指導 ・ 生徒 指導	10 児童生徒の障がいの状況や特性等に応じた指導や授業づくりを行っている。	4.2	20 39%	25 49%	3 6%	2 4%	1 2%	1
		11 児童生徒の進路や卒業後について、保護者の意識が高まるように個別懇談等で適切に説明している。	4.0	16 31%	23 45%	9 18%	2 4%	1 2%	1
		12 呼称などに注意し、子どもの人権を尊重した言葉づかいや指導を行っている。	3.8	11 21%	25 48%	14 27%	1 2%	1 2%	0
		13 学習の様子や成果がわかりやすく伝わるよう掲示を行っている。	4.2	15 30%	29 58%	5 10%	1 2%	0 0%	2
	健康 ・ 安全	14 日常的に子どもの健康管理、安全管理について、必要に応じて話し合い、事前に対策を立てている。	4.5	23 45%	28 55%	0 0%	0 0%	0 0%	1
		15 健康・安全面について、報告や連絡、相談を行う方法等の準備がでている。	4.3	21 41%	26 51%	4 8%	0 0%	0 0%	1
	研 修	16 知的障がいや自閉症等に関する専門性を高め、質の高い授業づくりに努めている。	4.0	10 19%	34 65%	5 10%	2 4%	1 2%	0
17 校内の実践研究では、学校課題に沿って職員間で協働した授業改善を効果的に行うことができている。		3.7	8 15%	24 46%	17 33%	2 4%	1 2%	0	
連 携	校 内	18 学部、寄宿舎、分掌部、各種委員会、事務部等の校内組織間の連携は効果的に行われている。	3.7	3 5%	38 63%	16 27%	3 5%	0 0%	1
		19 適切な指導や業務推進のため、職員間で連携協力して取り組んでいる。	3.9	13 21%	36 59%	9 15%	1 2%	2 3%	0
	保護 者	20 保護者の意見や要望を関係者で共通理解し、学校と保護者との間で相互連携が図られている。	3.9	13 21%	33 54%	14 23%	0 0%	1 2%	0
		21 いじめの防止等について家庭と連携し、いじめの早期発見・早期解決に取り組んでいる。	4.0	22 38%	17 29%	17 29%	1 2%	1 2%	2
地 域 ・ 関 係 機 関 等	22 学校の教育活動について地域へわかりやすく発信し、十分に理解啓発を行っている。	3.8	8 16%	29 57%	13 25%	0 0%	1 2%	1	
	23 センター的機能に関して、地域の幼稚園、各学校、関係機関の支援ニーズを把握し、適切に応じている。	4.0	16 32%	21 42%	11 22%	2 4%	0 0%	2	
	24 児童生徒の社会性の向上のため、地域の教育資源を活用した効果的な教育活動を行っている。	3.8	10 19%	25 48%	14 27%	2 4%	1 2%	0	
危 機 管 理	25 児童生徒の事故等の未然防止のため、施設・整備を安全に整備し、事故防止に努めている。	4.6	35 58%	25 42%	0 0%	0 0%	0 0%	1	
	26 緊急時には、校内避難マニュアルに沿って、児童生徒を安全な場所に避難誘導することができる。	4.3	24 40%	28 47%	8 13%	0 0%	0 0%	1	
	27 校内マニュアルを活用して、児童生徒に関する個人情報情報を適切に管理し、使用している。	4.4	34 56%	22 36%	4 7%	0 0%	1 2%	0	
P T A	28 PTA活動に、積極的に参加している。	3.7	14 23%	22 37%	17 28%	4 7%	3 5%	1	
そ 他	29 紙等消耗品の節約や節電、節水など節約の意識を持って業務を行っている。	4.3	26 43%	26 43%	7 12%	0 0%	1 2%	1	
	30 日頃から教育公務員としての自覚を持って行動している。	4.5	33 55%	24 40%	3 5%	0 0%	0 0%	0	